

三町合併問題学習会

全国町村会も平成合併を評価せず
「合併は二区切りに」
地方制度調査会答申

10月12日、西尾・幡豆3町の合併を考える会主催の学習会が開かれ、名古屋市立大学教授の山田明氏と、元日本共産党愛知県議員の林信敏氏が講演しました。

疑問が多い西尾幡豆の合併

山田明教授の講演から

平成の合併運動は「限界」で、新法期限の平成22年度までで「一区切り」にするように、合併を進めてきた地方制度調査会が6月に提言している。合併は「飽しやぶらせて虫歯だらけ」になり、飽も旨くないとわかったら、小泉改革で小さな町を締め上げて

進めてきた。政権交代して、民主党の原口総務大臣はまだ合併に対しての発言はしていないが、従来とは違う方式に変わり始める。なぜ、西尾幡豆が、この時期に合併へと動き出したのか、疑問が多い。

自民党さえ、「道州制の推進」から「地域主権」へと変化し、住民投票法の制定を政策集で発表している。多くの合併事例では、合併によって財政が好転したり、また「サ

ービスは高く、負担は低く」とはならなかった。西尾幡豆の合併の説明会資料と説明会の質疑応答の要旨などを見させてもらったが、合併のメリットについては抽象的なものでしかない。一方で、合併によるデメリットに対しては、どのように対応するのかを示されてもいない。説明会での答は、いつつけたような回答ばかりで、いずれもイライラを募らせるような答えしかない。

不確定な合併特例法や特例措置への疑問、行財政の不安、住民投票の要求など出して、今なぜ合併なのか、よく考えなければならぬ。



佐々木憲昭
衆議院議員

せこゆき子
元衆議院議員

八田ひろ子
元参院議員

消費税増税を掲げた自民党政権が、国民の審判によって退場し、民主党中心の政権が誕生しましたが、消費税については「この政権では上げない」としています。しかし、日本経団連は執拗に「消費税増税」を法人税引き下げとワンセットで求めています。民主党は最低保障年金の財源を消費税でまかなう構想を明らかにしており、次の総選挙で消費税を上げる政策をマニフェストで掲げようとしています。失業や倒産がひろがっており、国民の生活実態は年末を控えていっそう悪化しつつあります。このような状況で、消費税増税など認められないという世論も増えており、生活を守るための強めなければなりません。(佐々木憲昭HP)



平成合併の弊害は既に顕在化

林信敏共産党前県議の報告
西尾幡豆の合併は「周回遅れのランナー」となる。なぜ、今スタ

トなのか理由がなく、道州制の受け皿づくりとしか考えられない。柳原市長は異議時代に「一掃の時もあったが、とかく県議とは上を見て下に回していくような体質が強く、それで名を上げようとして

政府の財政健全化判断比率では愛知県内の自治体はすべて合格している。町の方向は住民の意思で行わなければならない。首長と一部のものための町にはならない。全国町村会の平成合併の検証もされ、合併したところでは、財政支出削減で住民サービスを下させ、行政と住民とのかい離、財政計画のかい離、周辺部の衰退

参加者の声

Yさん
私は、北海道のある町を視察したことがあります。この町は開拓民によってつくられた町で、住民のこの町に対する愛着もひとかたならぬものがあります。さらにこの町は冬季には橋が凍りついてしまいます。こんな町が合併をしたら、町役場に行くにも橋を渡って隣町まで行かなければならなくなり、冬季は大変危険です。だから合併はせず自立の町を

Nさん
旧額田町では、岡崎への合併で小学校数の見直しを合併5年後に行うことになっていました。ところがすでに4年目で8校のうち3校が廃校にされることになってしまいました。

又、商工会への補助金は、町の時代は8百万円でしたが、合併後は4百万円に減らされ、尚、額田の補助額は多いと圧力をかけられているということ。合併すればその町の個性や特徴を守ることが至難です。



合併プロジェクトチームが行った意向調査は、20日の時点で回収率は半数にも満たないとのこと。いまだ住民の合併に対する関心は高くはないとも言えます。意向調査とは、住民の思いそのまますまを把握することです。しかし、今回の意向調査では、合併についてどう考えるかという問では、①積極的に進めるべき、②西尾・幡豆地域の状況から合併はやむを得ない、③合併すべきでない、④わからない、⑤その他となっています。合併に賛成は、質問①と質問②に○を打った数がカウントされますが、反対は質問③しかありません。中立な立場で質問をするなら①賛成、②どちらかといえれば賛成、③反対、④どちらかといえれば反対と、なるはずですが、ちなみに、他団体が行ったアンケートでは、合併の課題も率直に提起したためか、回答の圧倒的多数が反対になっていくとのこと。アンケートは取りかた次第です。合併の抱える課題の対策を明らかにせず賛成に誘導するアンケートを行うことは、市長の所信表明演説の姿勢、「市政の中心は市民」市政は透明で風通しが良くなければならぬ」とに反しています。住民に誠実に、すでに明らかにされている合併のデメリットこそ徹底的に解明していくことが必要です。

合併は説明責任果たし是非は住民投票で 署名運動にご協力を

西尾市と幡豆郡3町合併問題を考える会では、それぞれの市町の議会議員に対して、西尾市と幡豆3町の合併問題は、住民の疑問を明らかにし、合併の是非は住民投票で決めることを求める請願書の提出を求めて活動していくことを学習会の場に提案しました。この趣旨に賛同いただける皆様のご協力をお願いします。

合併に対する住民からの疑問や心配が相次いでいますので、紹介します。

★意向調査書が届きました。幡豆3町は都市計画税が上がるといふ話を聞いたが、それがどうなるかわからないので賛成とか反対とかの答えを出せない。

★町役場から発注されていた事業や物品は、全部西尾市に集中されてしまえば、町民への恩恵はなくなるのではと、倒木で道路の通行止めや架線の破断も多く、目を覆う有様でした。特に、私の住んでいる上の集落での被害が大きく、コンクリートの電柱が途中で折れているものが2本

十月七日の未明、母屋の二階に寝ていた息子が、「屋根が風の勢いでとんで行ってしまいそうだ」と駆け込んできました。暗闇の中、パジャマの上にカッパを羽織って二階に上がってみると、ガラス戸二枚がその土台と共に部屋の中に倒れ込み、風が天井板も数枚をはがしていました。幸い割れていなかったガラス戸を扉木2本使って柱に打ちつけ応急処置は施したものの、朝まで家族全員眠ることは出来ませんでした。明るくなって近所を見回ると、被害の大きさにビックリ。停電と断水、家屋の

密着した妊婦さんから高齢者までの保健事業がなくなってしまうと聞きました。こういうことは幡豆3町ではどうなるのでしょうか。

請願の趣旨



②西尾市・幡豆郡3町の合併が提案され、平成23年3月末日までの合併を目指して作業が進められています。

しかし、住民には、合併で何がどう変わるのか分からないままです。「3町の役場は支所になり、申請や要望の届出で西尾市役所に行くことが増えるのではないのか。」

「愛着のある町の名前が消えるのではないのか」「周辺部はさびれてしまふのではないのか」「3町の年間20億円の交付税がなくなったら、そ

の分西尾市の負担は増えて、これまでの住民サービスが維持できなくなるのではないのか」等など、疑問や不安がいろいろあります。

こうした住民の不安については明らかにした上で、合併の是非は住民投票で決めることを求めます。

皆さんの「ご協力」を 西尾幡豆の合併を考える会立ち上げへ



「合併問題を考える会」では、学習会を契機に、さまざまな活動を展開する母体を広げていくことにしました。

この会の目的は、合併について住民の疑問に徹底して応え、合併の是非は住民投票で決めるように求めることで、必要となる活動を行うものです。

この会の活動内容は今後役員会で具体化していきますが、会の目的に照らして必要となる活動として①調査活動として、すでに合併した自治体のメリット・デメリットを説明する。西尾市と3町の住民サービスの実態比較。各種団体などへの補助金などの比較。②首长や合併推進プロジェクトチームへの陳情・申し入れ活動。③宣伝活動。④署名活動などです。

これらの趣旨や活動に賛同していただける方すべてが会員の対象者です。

合併は子々孫々に渡り、すべての住民に影響があることで、すでに合併した自治体から「こんなはずではなかった」という声が多数上がっています。しかも引き返すことはできないことなので、後悔するようなことのないよう徹底した活動を行わなければなりません。

この趣旨に賛同いただける方はどうぞ知人友人にも声をかけていただき、住民投票では過半数を占めるような世論つくりのために、力をお貸しください。

近々役員を発表しますが、当面市議会議員の牧野次郎、牧野勝子をお目撃いただけます。

一筆啓上 十八号台風と「合併」問題 元額田町議 萩原 昇

被害はもとより、倒木で道路の通行止めや架線の破断も多く、目を覆う有様でした。特に、私の住んでいる上の集落での被害が大きく、コンクリートの電柱が途中で折れているものが2本

もありました。結局、私の集落では停電は午後八時半に復旧しましたが、ひどいところでは翌日（九月）の午前までかかりました。

私は、額田が岡崎市に編入合

が設置されています。停電の時など非常時にこそ本来の機能を果たす、この戸別受信機からはこの台風に関する「被害予測や情報」などの呼びかけは一度もありませんでした。「同報

日本共産党西尾市議団



牧野次郎 議員
TEL 57-3064 FAX 54-0325



牧野勝子 議員
TEL 59-8424 FAX 59-0464

生活相談 サラ金、労働問題などのくらしの相談に応じますので、ご連絡ください。

法律相談 また、法律の専門的な問題には、弁護士との無料相談もあります。毎週火曜日午後6時から8時、1件30分。予約が必要です。議員又は下記入。

日本共産党西尾市委員会 TEL&FAX 54-4421